

東京五輪がスポーツ市場後押し

ヘルスビジネスの総合情報誌
ヘルスライフビジネス
 発行/東京ヘルスマガジン社 発行人:大矢 均 編集人:花田洋一
 〒101-0021 東京都千代田区外神田6丁目5番3号 徳業ビル新外神田5F
 TEL03-3839-0751 FAX03-3839-0753
 http://www.health-mag.co.jp/ E-mail:info@health-mag.co.jp

2018年(平成30年) 毎月1日、15日発行
 平成29年11月24日 第三種郵便物認可
12月1日
 (第696号)
 年間購読料 ¥33,000+消費税
 郵賃 ¥00190-5-611380

今号の主な内容

- ニュース
 - ライザップ赤字転落……………2
 - 軽減税率問題……………2
 - 人工知能でTV通販の入件数増加/キューサイ…5
- 解説
 - 多様化する法人向け食事提供サービス…7
- 海外情報
 - 米「カーブサイドピックアップ」…8
- 特集
 - 関節対応……………9~11
 - スポーツニュートリション…14~17
 - 腸内フローラ改善……………19~21
 - 松樹皮……………22・23

「整腸・腸内環境」は、乳酸菌・ビフィズス菌市場の拡大に伴い、昨年度比で大幅な増加を記録。特に、機能性表示食品の影響などで、一般食品での拡大が顕著。また、世界的な市場拡大の流れを鑑みても、さらなる拡大が強く予想される。2位の「トータルバランス」は、青汁、酵素(植物発酵エキス)などが好調に推移。黒酢、核酸

平成 29 年版健康食品 (保健機能食品等含む) 訴求別末端市場規模

順位	訴求点	市場規模	主な素材	対前年比
1	整腸・腸内環境	6200 億円	乳酸菌、ビフィズス菌、食物繊維、オリゴ糖など	↑
2	トータルバランス	3990 億円	青汁、酵素、黒酢、核酸、セサミン、ブルーベリー、ビタミン・ミネラルなど	↑
3	美容・美肌	1600 億円	コラーゲン、プラセンタ、ヒアルロン酸、セラミドなど	↑
4	抗肥満・ダイエット	1430 億円	食事代替型、ハーブ、アミノ酸(一部)など	↓
5	関節・抗炎症	700 億円	グルコサミン、コンドロイチン、MSM、II型コラーゲン、プロテオグリカンなど	↓
6	スポーツ・筋力	560 億円	プロテイン、アミノ酸など	↑
7	血流改善	550 億円	DHA、ショウガ、タマネギ、ナットウなど	↓
8	アイケア	530 億円	ブルーベリー、ルテインなど	→
9	精力・滋養強壮	480 億円	マカ、ニンニク、スッポンなど	↓
10	免疫	470 億円	キノコ、プロポリス、フコイダンなど	↓
11	抗糖尿・血糖値	460 億円	サラシア、グアバ葉、難消化性デキストリンなど	↓
12	肝機能	420 億円	ウコン、オルニチン、豚肝臓など	↑
13	虫歯・口腔ケア	320 億円	キシリトールなど	↓
14	ブレイン・メンタル・睡眠	300 億円	イチョウ葉、PS、GABA、テアニンなど	↑
15	血圧	200 億円	ペプチドなど	↓

※本紙編集部調査(推定) ※無断利用および複製禁止

本紙では年末恒例となった健康食品(保健機能食品)・自然食品(健康志向食品)の訴求別末端市場規模調査(平成29年版)。今年は、世界的な「トータルバランス」の「整腸・腸内環境」や、2020年の東京五輪開催を控え「スポーツ・筋力」が拡大して「トータルバランス」「美容・美肌」「肝機能」「ブレイン・メンタル・睡眠」が市場拡大となった。その背景には「インバウンド」・「越境EC」での伸びる機能性表示食品の関与も大きく見られるが、一方で市場がやや伸び悩んだ分野もあるようだ。

本紙調査「平成29年版訴求別市場規模」

米国健食 & 自然食品市場の最前線を視察!
2019年3月5日~11日
ナチュラルプロダクツエキスポ2019
 & 店舗視察ツアー 参加者募集中!
 詳細はHPもしくはお電話で!
<http://www.health-mag.co.jp>
 TEL03-3839-0751 担当: 神山花里

一方、大型市場の「抗肥満・ダイエット」は大きなヒット商材に恵まれず、前年度比で微減。また、「同一」関節・抗炎症(「血液改善」「滋養強壮」「血糖値」なども)や数字を落としたが、潜在需要の大きい市場であることに変わりはない。状況次第で今後拡大に転じる可能性も十分にあるだろう。

ブルーンなどは近年傾向にあるものの根強いファンも多く、堅調だ。6位の「スポーツ・筋力」は、再来年に迫った東京オリンピック・パラリンピックに向け、市場は一層活況。昨年度はプロテインが引き続き好調だったほか、ブームとなったHMBカルシウムをはじめアミノ酸系素材も伸長した。3位の「美容・美肌」は、インバウンドや越境ECの影響もあり、コラーゲンが大きく拡大。ヒアルロン酸やセラミドなどの機能性表示対応素材も好調に推移した。

ライフガーディアン THE LIFE GUARDIAN™
 indena INDUSTRIA DERIVATI NATURALI

 メリーバ®でとられた有効性ヒト臨床データ
 ・骨関節症
 ・糖尿病、関連疾患
 ・急性疼痛、神経痛
 ・がん介護
 関節の健康のために吸収率を高めたクルクミノイド
メリーバ®
 ウコン・フィットソーム™
 生体内で分解されやすいクルクミノイドにフィットソーム技術を用いて、従来比約30倍の

POLYCAN™
ポリカン
 黒酵母培養発酵エキス末 (有効成分: 多糖類 40% 以上)
 ロコモトライアングル(骨・関節・筋肉)に働きかける!
 グルコサミン・カルシウムとの相性抜群!

 骨
 関節
 筋肉


トピック

ライザップ赤字へ下方修正

成長要因のM&Aは凍結へ

ライザップグループ

ライザップホールディングス「ライザップ」を展開するライザップグループ(東京証券取引所1部上場)は11月14日、第2四半期決算短信を発表した。売り上げ収益は100億5000万円、前年同期比74%増となった。その一方で、営業損失は88億5000万円を計上し、49億円の営業利益となった前年から赤字へ急転した。同日、連結営業利益に關し、200億円の黒字を見込んでいたが33億円の赤字となる見込みを修正した。これにより新規M&Aは原則凍結となし、経営戦略の見直しを急務とされている。(編集部・柳浩)

成長から一転、営業損失88億円計上

同社は先般、下方修正の経営責任から、代表取締役社長の柳浩氏に経営責任を全額負わせ、柳浩氏を全額自任職上とする見込みである。柳浩氏は、同社の上場期間後において、同社の連結営業利益が下方修正の予想である200億円の黒字を計上する見込みとなっていた。柳浩氏は、同社の上場期間後において、同社の連結営業利益が下方修正の予想である200億円の黒字を計上する見込みとなっていた。柳浩氏は、同社の上場期間後において、同社の連結営業利益が下方修正の予想である200億円の黒字を計上する見込みとなっていた。

挙げている。特にワンダーコーポレーションやMRKホールディングスといった上場子会社の赤字幅が拡大したことが大きい。これまでM&Aによって企業をグループ化する中で成長してきた同社だが、グループ化した企業によって戦略の見直しを迫られる結果となった。主力のジムとは相乗効果の無い企業の買収を純粋に成長要因の一つと見なしている。柳浩氏は「今後の戦略について、同社は「新規M&Aの原則凍結」「グループ会社の経営再建の早期完了」などを挙げている。また、収益改善が困難な事業は積極的に縮小、売却することも視野に入れている。今後、膨張したグループ子会社の整理が行われると予想される。

主力事業は引き続き展開

一方で、同担当者は「今回の決算ではグループ会社で損失が発生しているが、主力である事業には大きな影響はない」とコメントしている。実際に主力事業であるトレーニングジム「ライザップ」や「ライザップグループ」といったライザップ関連事業は好調を維持し、グループ全体で赤字となった中でも売上高を営業に伸ばしている。運営する店舗の利用者、店舗数を着実に増やし、ヘルスケアの取り組みにおいては自治体と連携した健康促進プログラムや法人向けの低価格費弁当の宅配弁当「DIP」も引き続き行われる。これら成長を続けてきた同社が赤字から立て直すことができるか、注目が集まる。

軽減税率、資材以外の食品原料も8%対象に

「適格請求書等保存方式」で請求書記載方法変更へ

11月6日に健康食品表示規制研究会セミナー(主催・ヘルスライフビジネス編集部)が行われ、約80社の関係者が集まった。この中で食品表示に關する軽減税率適用に關し、東北税理士会事務理事・桑畑道雄氏(旭日税理士法人代表)が「軽減税率(10%)に伴って導入が予定されている軽減税率適用の表示方法について解説した。(編集部・花里)



制度導入に備え対象品目の把握が急務

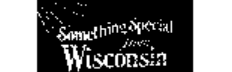
国税庁は軽減税率適用の表示方法に關し、Aを標準的な表示方法として導入を計画している。軽減税率適用の対象品目について、事業者は「適格請求書等保存方式」で請求書記載方法を変更する必要がある。桑畑氏は「軽減税率適用は、事業者にとって大きな変化である」と指摘し、軽減税率適用の対象品目を把握することが急務であると強調した。

品目別に表示方法が異なる食品表示法に關する把握が、事業者にとって急務である。桑畑氏は「軽減税率適用は、事業者にとって大きな変化である」と指摘し、軽減税率適用の対象品目を把握することが急務であると強調した。また、軽減税率適用の対象品目を把握することが急務であると強調した。



米国ウイソコンシンジンセン協会
ロゴマークは、ウイソコンシンジンセン協会の登録商標・商標です。

アメリカ/ウイソコンシン州の約200のアメリカン・ジンセン生産者を代表する団体。農作物への農薬使用に關し厳格な規制が課せられているアメリカで、米国農務省(USDA)の定める厳格なテストに合格しています。ウイソコンシン州産アメリカン・ジンセンは、味と香りの良さ、有効成分のジンセノイドの含有量が多いことにより、世界で最高品質のアメリカン・ジンセンとして高い評価を得ています。



信頼の認定マーク付き製品なら 日本で皇漢薬品研究所だけが許可されています。
他と差別化され、付加価値が大幅にアップします!!
アメリカ人蔘のことなら
ウイソコンシン・ジンセン

■栄養補助食品 ■化粧品 ■医薬品 ■医薬部外品 ■お茶 ■ドリンク

加工
●刻みから超微粉末まで ●打錠・顆粒
●ハード・ソフトカプセル ●エキス抽出・精製
●煎薬・乾燥 ●缶・箱・ビン・紙缶詰
●分包 ●ドリンク

原料から製品化まで医薬品GMP基準で **自社工場** 製造
エビデンスを重視し、最高の水準を目指しています
薬剤師、品質管理部長、製造管理責任者が品質規格や安全性を、事前に精密なミーティングを行い、GMPを取得した最新設備の自社工場に製造し、安心・安全・確かな製品をお届けします。

あらゆるニーズに迅速に対応